

圧縮機入れ替え、展開検査で危険物対応

◎カワサキ商会グループ

建設系など産廃の収集運搬と中間処理を広く手掛ける(株)カワサキ商会(千葉県市川市日之出21-1-643、川崎秀樹代表取締役社長、☎047-369-6126)グループの(株)カワサキ環境(長野市信更町桜井683、☎026-290-3210)は、中間処理施設「リサイクル館」の既設プラントを更新する一環で、圧縮・結束施設を新機種に入れ替えた。(株)NCMの縦型圧縮梱包機を導入したもので、油圧式扉ロック機構の採用により、簡単・簡潔な操作で素早く扉を開閉できるなど作業性に優れる。日量処理能力と品目は従来から変更なしで、いずれも1日8時間稼働で廃プラスチック類57.7t、金属くず105.8t、紙くず54.9tとなっている。

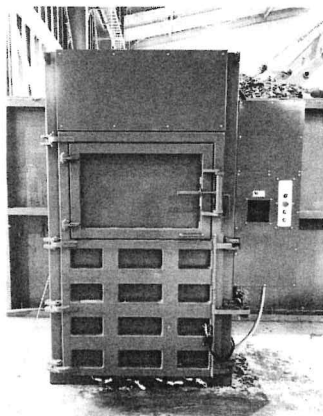
「リサイクル館」は2017年6月に同業者へのM&Aでグループ子会社化し、(株)カワサキ環境に商号変更したもの。長野市郊外の丘陵地に位置し、約7100m²の敷地に建つ延床面積約3000m²の建屋内に、破碎・選別、圧縮・結束の設備群と展開・積替保管ヤー

ドを設けた屋内型施設だ。トロンメル、風力選別機、手選別コンベヤ、磁選機等で構成された全長80mの精選別リサイクルシステムで分選別を徹底し、再資源化と処分向け廃棄物の削減に努めている。

グループとして、危険物の取り扱いも細心の注意を払っている。石綿含有廃棄物は元請業者で分別された二重梱包物のみを取扱対象とし、LiBは排出事業者や持込業者への混入防止の周知・要請と共に、自社施設等での展開検査による確認で対処している。リサイクル館の施設群は、ライン化させずに各機を単独配置しており、安全面のリスク回避で利点があるという。

グループでは解体工事も手掛けており、LiBは小型タイプを含め、コンセント式ではないあらゆる電動物品に含まれており、現場の朝礼で通常産廃等に混ぜて出さないよう厳しく注意喚起している。アスベストの事前調査は施主を通じて外注で実施してもらい、その上で、自社確認を行ってから施工に臨む。

夏の熱中症対策では、各作業員に空調服を支給し、飲料も意識して摂取してもらうよう提供している。休憩時間も10時と15時の定時以外に随時増やしてもらい、可能な限りの対応を徹底してきた。今後はドライバーの働き方改革をもう一段進めて、定時退社や人員増を促す意向だ。



更新した圧縮・結束施設



廃プラ等を圧縮結束した装置内